

あま
尼崎が好きな人のための環境情報誌

あまがすき



エコ

通信 Vol.110
2019年
1月号



尼崎市役所



ココロプログラム No.20

尼崎市長 稲村 和美 さん (46)



明けましておめでとうございます。今年も「あまがすきエコ通信」をよろしくお願ひします。

新春号は、8年前に全国最年少の女性市長として尼崎市民の先頭に立ち、いま市政3期目がスタートしたばかりの稲村和美市長に登場願った。

同市長は「あまがすき環境オープンカレッジ」の“学長”でもある。ことのほか環境問題に力を含め、5年前、国から選定された“環境モデル都市・尼崎”のPRに余念がない。

昨年12月初め、兵庫県民会館であった自然エネルギーフォーラム「持続可能な地域社会の実現に向けて」でも、「エコ未来都市を目指す尼崎市の取組」をわかりやすく丁寧に講演して、県内の環境活動に携わる多くの人たちから拍手を浴びた。

この講演に好印象を受け、柔和な笑顔が輝いて見えた市民政治家・稲村市長の秘密の一端を知りたいと思った。そこで市長にプロフィールの確認をしたところ、高校時代から、とりわけ神戸大法学部生・大学院生そして会社員時代にかけて次のような自身の前史を詳しく語ってくれた。

なんと高校生の時、軽音楽部で活躍する一方、放送委員会で、「あー、いー、うー…」と口を大きく開けて発声をよくする話術を学んだ。持ち前のよく通る声に磨きがかかった話し方が、フォーラム参加者の心を捉えたのは無理もない。

全市民が“環境モデル都市”強調を

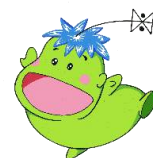
また、ちょうど21歳の時には、阪神淡路大震災に遭遇。避難所の手伝いで経験したボランティア活動をきっかけに、なかなか進まない街の復興状況をしっかり見つめた。その中で、税金の使い方と政治のあり方や「地方自治」に関心を持つようになったという。震災で浮き彫りになった社会の歪に、思わず「どうにかならないの？」の歯がゆい声が出る毎日だったようだ。

たまたま、政策勉強会に声を掛けてくれた複数の尼崎市議を通して、院生時代に市議会のスタッフになり、議会の傍聴を続け、市議たちの政治活動現場を知った。そして議会を変えたいと熱い思いを持つ人たちの市民ネットワーク作りに参加。その姿勢は、卒業して証券会社の社員になってからも変わらなかった。苦手の経済も会社の仕事を通して学んだという。

やがて25歳で白井文前市長のスタッフになり、政治の世界へ。翌年に兵庫県会議員、2010年には尼崎市長に当選し、今や45万市民の顔となっているのは周知の通りだ。

「子どものときから、何でもやりたいタイプです。悩むよりも、いろんな問題にコミットし積極的に学ぶことが楽しい。運は強い方かも」と自己分析する稲村市長。「子どもたちには、日本の高度成長に寄与してきた尼崎の歴史をしっかり教えてほしい」。

その上で「“公害”と向き合い、新しい技術や再生可能エネルギーに挑戦する“経済と環境が共生するモデル都市になった”ことを多くの人に広めていただきたいですね」と強調した。(キヨ)



エコあま君
○尼子騒兵衛&尼崎JC&あまがすきエコクラブ

あまがさき環境オープンカレッジの講座・イベント



主催

あるもんで交歓会

【日時】1/26(土) 13:30~15:00
 【場所】塚口さんさんタウン2番館コミュニティホール
 【内容】お家に眠っている不用品をもちより交換！
 「あげます」「ください」の思いも交歓！
 【参加費】無料 ※直接お越しください

申込み・問合せ：あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会
 【事務局 NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジ】
 TEL/FAX : 06-6421-0544
 E-mail : aoce@gb4.so-net.ne.jp

オープンカレッジ広場 (第2・4木曜日)

兵庫県(丹波篠山)のお米と野菜販売、
 ミニあるもんで交歓会など
 【日時】1月10日(木)・1月24日(木)
 10:00~15:00
 【場所】塚口さんさんタウンスカイコム広場
 【協力】みたけの里舎、認定NPO 法人フードバンク関西
 みんなの尼崎大学、紙芝居どんぐりの会 など
 ※フードドライブ、ペットボトルのエコキャップ、
 缶プルトップの回収もします。

あまがさき環境オープンカレッジ・レギュラー活動

※参加費無料

★おもちゃ病院 塚口診療所

【毎月第1土曜日】
 【日時】1/5(土)、2/2(土)
 13:00~15:00
 【場所】塚口さんさんタウン2番館コミュニティホール
 【内容】おもちゃの治療をします！
 ※おもちゃドクターに興味のある方 見学大歓迎！！



★ゴミレスキュー隊・トングマン

【日時】毎週木曜日 10:00~11:30
 ※雨天・祝日中止
 【集合】塚口さんさんタウン2番館コミュニティホール前
 【内容】阪急塚口駅周辺のゴミ拾い



★エコ工作

【毎月第4日曜日】
 【日時】1/27(日)
 13:30~15:30
 【場所】塚口さんさんタウン2番館コミュニティホール
 【内容】間伐材や枯葉等で工作



第16回ブリヂストン こどもエコ絵画コンクール

【応募期間】12/1(土)~1/25(金)必着
 【内容】テーマ「かいてみよう！まもりたい自然」
 風景や生き物、植物などたくさんある自然。
 どれも、みんなが大切にしないといけないものなんだ。
 あなたの「まもりたい自然」は、なんだろう？
 それを絵に描いてみよう！
 前に見たものでも、いつも見ているものでもOKだよ。
 *八つ切りサイズ(27×38 cm縦横自由)画用紙
 (応募作品は返却できません)
 【応募資格】小学生以下の日本国内在住の方
 ▼応募先/問合せ：ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール事務局
 フリーダイヤル 0120(841)496
 ※参加賞として応募作品がステッカーになります。応募者全員にプレゼント
 ※応募用紙はウェブサイトにあります。
<http://www.bridgestone.co.jp/sc/ecokaiga/>



よろしく
 お願いします

あまがさき環境オープンカレッジでは、
 下記のことを事務所に回収しています。
 ご協力をよろしくお願いいたします。
 ・ペットボトルのエコキャップ
 ・缶プルトップ
 ・使用済み切手
 ・フードドライブ
 [未開封の食品(賞味期限まで
 ニヶ月以上あり、常温保存できるもの)]
 ・ご家庭で使わなくなった蛍光灯
 [対象となる蛍光灯は、
 直管状、環状、電球状のもの]

エコ川柳 No.2

『尼崎市民まつり』10月8日にて、来場者から投稿して
 いただいた環境に関するエコ川柳作品。
 [2018年12月号から2019年3月号で紹介]

包装紙
 これも立派な
 折り紙に(千代紙)

生ゴミも
 土にかえせば
 有機肥

ひの木くづ
 おふろにいれれば
 ごうかなひの木ぶろ

プラスチック
 便利の後は
 ゴミの山

これからは
 早ねはやおき
 がんばろう

ごみのないまちづくりに向けて 学び合い、語り合おう！ ごみ減量市民交流会 2019

【日時】2/7(木) 13:30~16:45
 【場所】大阪産業大学
 梅田サテライトキャンパス
 (大阪駅前第3ビル19階)
 【内容】第1部 ごみ減量活動事例発表
 第2部 グループワーク
 【定員】80名
 【申込み】参加者全員の名前、所属、代表
 者の連絡先を明記してメールか
 FAXにてお申込みください
 主催：大阪ごみ減量推進会議
 共催：大阪市
 3R・低炭素社会検定実行委員会
 ▼申込み・問合せ：大阪ごみ減量推進会議
 ☎090(2048)6681(松井)
 FAX 06(6765)1112
 ✉info@osaka-gomigen.net



イベント情報

森づくり体験

【日 時】1/6(日)、1/18(金)、2/3(日)
9:45~12:00 ※雨天決行
【場 所】尼崎の森中央緑地(扇町33-4)
【集 合】パークセンター
【内 容】森づくり活動
【持ち物】帽子、長袖、長ズボン、汚れてもよい服装、飲み物
運動靴または長靴、タオル、(軍手)
▼問合せ:アマフォレストの会
☎090(4284)5968(あらもみ)

藻川クリーン作戦

【日 時】1/16(水)13:00~14:30 ※雨天中止
【場 所】藻川左岸河川敷
【集 合】藻川中園橋 東詰(田能1丁目)
【内 容】①河原のゴミひろい
②植物観察
【持ち物】軍手、帽子、(ゴミはさみ)
▼問合せ:NPO法人まいどいんあまがさき
☎06(6498)4183(見市<ミイチ>)

あまがさき森っこ活動日 昔の暮らしを知ろう

【日 時】1/27(日)10:00~11:30
※雨天の場合は、一部内容を変更して実施
【場 所】尼崎の森中央緑地パークセンター(扇町33-4)
【内 容】昔は、伐採した木を薪にして、暖をとっていました。
そんな昔の暮らしを、少し体験してみましょう。あたたかい甘酒とせんべいをみんなで食べますよ。
【定 員】15名(応募者多数の場合抽選)
【参加費】200円
【申込み】メールにて、件名を『昔の暮らし申込み』とし、参加者の氏名(ふりがな)、年齢、保護者の氏名、代表者の電話番号を。※申込締切1/13(日)
▼申込み・問合せ:尼崎の森中央緑地パークセンター
☎06(6412)1900(大石)
✉event_amamori@hyogopark.com

水辺で楽しもう 野鳥や冬の生き物観察

【日 時】2/3(日)9:40~12:00 ※雨天中止
【場 所】猪名川河川敷
【集 合】猪名川公園南入口(椎堂1丁目)
【内 容】①野鳥の観察
②冬の生き物探し
【対 象】自然に興味や関心のある子どもや大人
【参加費】1人200円
【持ち物】水筒、帽子、軍手、(双眼鏡、虫眼鏡)
▼問合せ:自然と文化の森協会
☎070(5651)1123(佐藤)
✉hukumo08@bca.bai.ne.jp(福本)

環境情報誌に、環境イベントや講座について掲載を希望される場合は、『情報提供シート』に記入していただき、あまがさき環境オープンカレッジまでご提出ください。
『情報提供シート』は、あまがさき環境オープンカレッジのホームページよりダウンロードできます。
用紙が必要な場合は、事務局までご連絡ください。
<http://www001.upp.so-net.ne.jp/aoce/sub3.html>



自然と文化の森フラットフォーム 園田の歴史を楽しもう

【日 時】1/15(火)19:00~21:00
【場 所】園田地区会館(東園田町4丁目)
【内 容】園田の歴史についてミニ講座
【対 象】園田のまちや歴史に興味や関心のある人
▼問合せ:園田地域振興センター
☎06(6491)2361(牛丸)

猪名の里:自然観察ウォーク

【日 時】1/20(日)9:30~12:30 ※小雨決行
【場 所】猪名川公園や猪名川自然林
【集 合】猪名川公園南入口(椎堂1丁目)
【内 容】冬の樹木や生き物を観察
【参加費】1人200円
【持ち物】水筒、帽子、筆記用具、(歩きやすい靴)
▼問合せ:自然と文化の森協会
☎090(8164)1980(白樺)

冬の昆虫楽しみ隊! ~冬の虫はどこにいるかな?~

【日 時】2/2(土)13:00~15:00 ※雨天中止
【場 所】尼崎の森中央緑地パークセンター(扇町33-4)
【内 容】寒い冬、虫たちはどこに潜んでいるのか。石の下や土の中など冬の昆虫を探します。
【定 員】50名(応募者多数の場合抽選)
【持ち物】軍手
【申込み】メールにて、件名を『冬の昆虫楽しみ隊申込み』とし、参加者全員の氏名(ふりがな)、お子さんの年齢、代表者の電話番号を。※申込期間1/4(金)~1/19(土)
▼申込み・問合せ:尼崎の森中央緑地パークセンター
☎06(6412)1900(大石)
✉event_amamori@hyogopark.com

地域の電力需要ピークの引き下げに取り組みませんか

【日 時】2/28(木)まで
【内 容】平成30年12月~翌年2月末日の間で電力需要がピークとなる時間帯(平日午後6時~9時)に市民の皆さんへ省エネをお願いし、地元の加盟店(塚口周辺)に外出してもらうように促します。それにこたえて、加盟店で食事や買い物をし、同店の端末に「ZUTTO・ECOまいぼ」カードで会計時にタッチすると、通常は100円分の購入につき1ポイントの地域通貨ポイントが付与されるところ、その2倍のポイントが付与されます。1ポイントは1円として、加盟店で使用できます。なお、この取組は平成27年度に尼崎版スマートコミュニティとして認定された事業の一環として実施されるものです。
詳細については市ホームページをご覧ください。
【対 象】「ZUTTO・ECOまいぼ」のカードを持っている方
▼問合せ:
【ZUTTO・ECOまいぼカード・登録店舗について】
まいぼ事務局(株式会社まいぶれwithYOU)
☎06(6420)8078(平日10時~18時)
✉info@myplwithyou.co.jp
【尼崎版スマートコミュニティについて】
尼崎市環境創造課
☎06(6489)6301

編集 後記

市長に取材、と言うと、普通はとても緊張して臨むはずだが、とても気楽な気持ちで市長室に…。みんなで選んだ市民の代表という存在感があふれ出ている。「市民が主体的にコミュニティに関わっていけるようにすることがライフワークだ」と言い切る。ぶれない強い意志を感じさせるまじめな表情の後に、女学生のようにクシャッと笑う。「ひと咲き まち咲き あまがさき」のスローガンをまさに体現されていると思った。(B)



あまがさき環境オープンカレッジ主催事業報告

ヒメボタル幼虫調査

11月24日(土) 13:30~16:30

農業公園 [トラップ設置]

参加者 39名 スタッフ 6名

ヒメボタルの特殊性や貴重性についてのお話を聞いたあと、竹林などの調査地域に張られたロープの目印に合わせて、タニシの切り身とキセルガイを餌としてトラップを400個埋めました。



12月1日(土) 13:30~16:30

農業公園 [トラップ回収]

参加者 39名 スタッフ 9名

トラップで6匹の幼虫が捕獲され、他にもダンゴムシやハサミムシ、ムカデなどの生き物たちも、たくさん捕まりました。竹林周辺の草地での捕獲で、貴重な結果が得られました。



あるもんで交歓会

11月24日(土) 13:30~15:00

塚口さんさんタウン

2番館コミュニティホール

参加者 約70名 スタッフ 8名

「これいくらですか」と聞かれ、無料の持ち寄り、持ち帰りですと答えると、不要になったものももう一度、誰かの役に立つ良い催しですねと言っていました。



環境学習バスツアー

11月27日(火) 8:30~17:00

淡路方面

参加者 37名 スタッフ 7名

竹を砕きパウダー・チップに加工されている杉本商店さんを見学。ボイラーの燃料や、家畜飼料に利用されています。薫寿堂さんでは、お線香作りの見学と自分だけのお香作りにも挑戦してきました。



あまっこエコライフチャレンジ

12月4日(火) 10:00~12:30

園田北小学校[事前学習学習]

生徒 56名+担任 3名 スタッフ 9名

2100年に向けて温暖化を予測する動画では、地球が赤い色に変化するにつれて子どもたちから驚きの声が上がりました。クイズの時間には、見学の父兄も参加して一緒に考えました。



ヤギと一緒にオープンカレッジ活動の森を育てよう

12月15日(土) 10:00~12:00

尼崎の森中央緑地パークセンター

参加者 58名 スタッフ 14名

中学生サポーターによる大型紙芝居の後、2班に分かれて、森での草ぬきと、リースの材料となる木の実を集めました。木の実や小枝、わら、稲穂を使って、親子で楽しくリースを作りました。



トコさんごめんご

小森利絵

行動するために、たちどまる

スーパーや百貨店で、閉店間際でもてんこ盛りになっているお惣菜やお弁当を見ていて、たくさんの種類をつくって並べて、たくさん廃棄していることに疑問を感じ、食べる量に合わせて、お弁当箱にお弁当を詰めるスタイルの弁当店をオープンされた飲食店の店主さんがいます。

また、美容室では毎日たくさんの人をシャンプーして、その水を流すから「水を汚している」と意識するようになり、なるべく汚さないためにはどうしたらいいのかと、使用するシャンプーを環境に優しいものに変えるなどされている美容師さんもありました。

まちのあちろこ方にはどういうふうな実践している人たちがいて、出会うと「自分はどうだろう?」「何ができたんだろう?」とふと立ちどまるきっかけをいただきます。

日常的に自分が行っていることの、その先を想像してみること。どんな形でもいいから、自分のできることからアクションを起こしてみること。私もそんなことを大切にしていきたいと思っています。

娘の今年の抱負。地域清掃と一緒に参加してくれるらう。



お手紙×季節のイラスト『おてがみこ』
https://www.facebook.com/otegameet/

あまがさきエコ通信 (毎月1日発行)

編集発行
問合せ

あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会・尼崎市

NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ

TEL/FAX 06-6421-0544 メール aoce@gb4.so-net.ne.jp

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目1番 2-402号

(阪急塚口駅から徒歩5分)

開館時間 10:00~17:00 【休館日 水曜・木曜・祝日・年末年始】

※[あまがさき通信]メール配信をご希望の方は、「あまがさきエコ通信メール配信希望」とお名前を明記のうえ上記アドレスにメールしてください。

題字横イラスト:園田三恵子



Facebook

